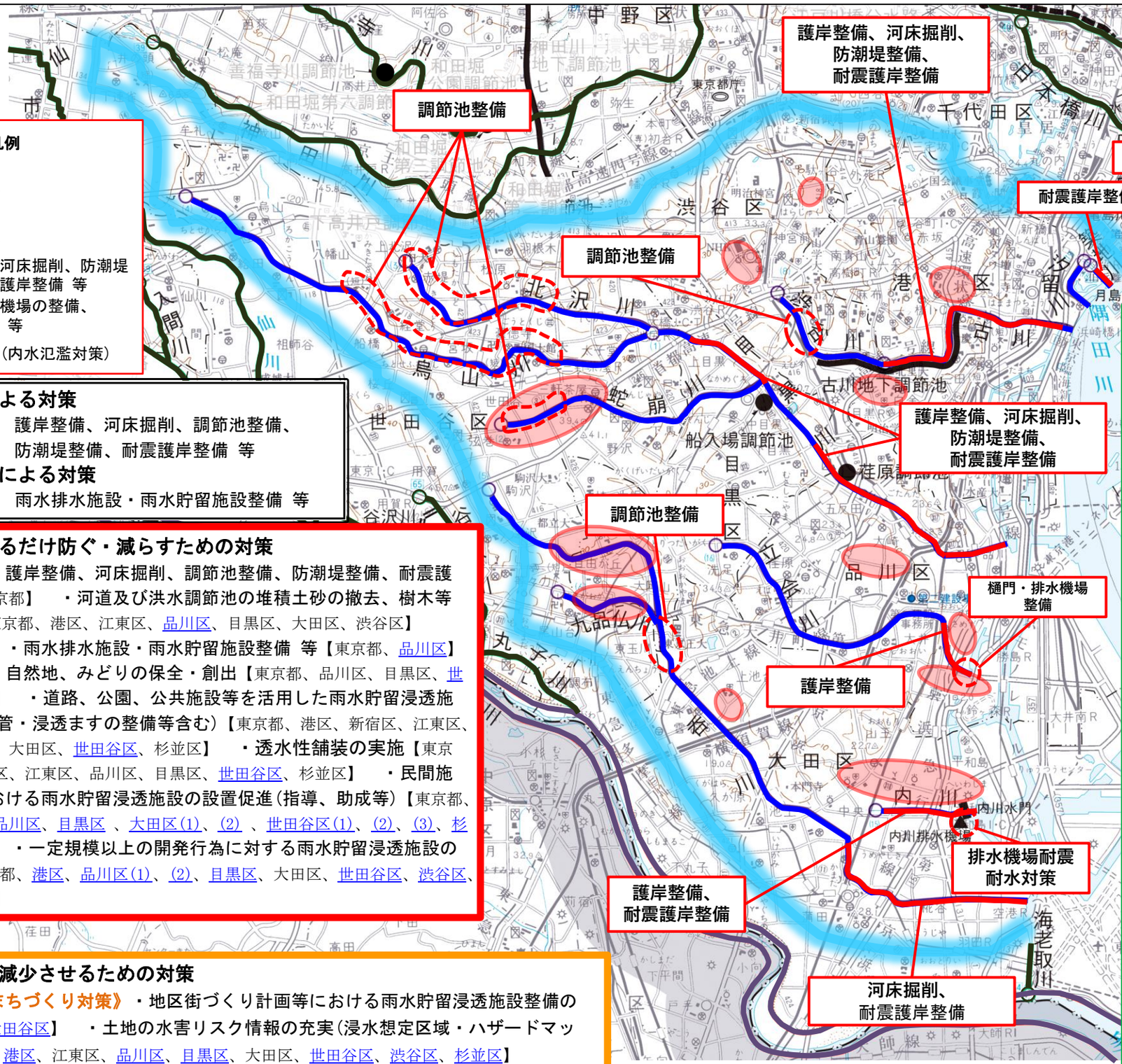
城南地区河川外３河川 流域治水プロジェクト【位置図】

～首都東京における流域治水の推進～

資料1

〇令和元年東日本台風では、各地で戦後最大を超える洪水により甚大な被害が発生したことを踏まえ、城南地区河川、越中島川、築地川、汐留川の流域においても、ハード・ソフト一体となった実効性のある事前防災対策を進めていく必要がある。本流域では、「各流域の目標降雨※による洪水」及び「伊勢湾台風と同台風級の高潮」に対応するため、以下の取組を実施し、浸水被害の軽減を図る。　※河川ごとに整備目標として設定している降雨の規模



凡例

- 対象河川
- 河川上流端
- 対象区域
- 既存調節池
- 護岸整備、河床掘削、防潮堤整備、耐震護岸整備 等
- 樋門・排水機場の整備、調節池整備 等
- 下水道整備（内水氾濫対策）

■河川整備による対策

対 策 内 容　護岸整備、河床掘削、調節池整備、防潮堤整備、耐震護岸整備 等

■下水道整備による対策

対 策 内 容　雨水排水施設・雨水貯留施設整備 等

■氾濫をできるだけ防ぐ・減らすための対策

《河川整備》・護岸整備、河床掘削、調節池整備、防潮堤整備、耐震護岸整備 等【東京都】　・河道及び洪水調節池の堆積土砂の撤去、樹木等の植生管理【東京都、港区、江東区、品川区、目黒区、大田区、渋谷区】

《下水道整備》・雨水排水施設・雨水貯留施設整備 等【東京都、品川区】

《流域対策》・自然地、みどりの保全・創出【東京都、品川区、目黒区、世田谷区、三鷹市】　・道路、公園、公共施設等を活用した雨水貯留浸透施設の整備（浸透管・浸透ますの整備等含む）【東京都、港区、新宿区、江東区、品川区、目黒区、大田区、世田谷区、杉並区】　・透水性舗装の実施【東京都、港区、新宿区、江東区、品川区、目黒区、世田谷区、杉並区】　・民間施設（住宅等）における雨水貯留浸透施設の設置促進（指導、助成等）【東京都、港区、新宿区、品川区、目黒区 、大田区(1)、(2) 、世田谷区(1)、(2)、(3)、杉並区、三鷹市】　・一定規模以上の開発行為に対する雨水貯留浸透施設の設置指導【東京都、港区、品川区(1)、(2)、目黒区、大田区、世田谷区、渋谷区、杉並区、三鷹市】

■被害対象を減少させるための対策

《家づくり・まちづくり対策》・地区街づくり計画等における雨水貯留浸透施設整備の促進の記載【世田谷区】　・土地の水害リスク情報の充実（浸水想定区域・ハザードマップ）【千代田区、港区、江東区、品川区、目黒区、大田区、世田谷区、渋谷区、杉並区】

・水災害リスク情報空白地帯の解消（土砂災害警戒区域等の指定等）【新宿区、世田谷区】

・要綱等による建築構造等の規定の適用等【新宿区、目黒区、世田谷区、杉並区】

■被害の軽減、早期復旧・復興のための対策

《避難方策の強化》・土地の水害リスク情報の周知・活用（浸水想定区域・ハザードマップ）【千代田区、港区、新宿区、江東区、品川区、目黒区、大田区、世田谷区、渋谷区、杉並区】

・水災害リスク情報空白地帯の解消（土砂災害警戒区域等の指定等）【新宿区、世田谷区】　・水位計（危機管理型含む）、河川監視カメラ（簡易型含む）の増設及び管理【東京都、港区、新宿区、品川区、目黒区、大田区、杉並区、世田谷区】　・多様な伝達手段を活用した水防災情報の提供【東京都、千代田区、港区、新宿区、品川区、目黒区、世田谷区、杉並区】　・タイムラインに基づく実践的な訓練の実施【東京都、千代田区、港区、江東区、品川区、目黒区、世田谷区、杉並区】　・防災教育や防災知識の普及【東京都、千代田区、港区、新宿区、江東区、品川区、目黒区、世田谷区、渋谷区、杉並区】　・避難指示の発令に着目したタイムラインの作成【東京都、千代田区、港区、新宿区、江東区、品川区、目黒区、世田谷区、渋谷区、杉並区】　・要配慮者利用施設への対応等を考慮した避難計画の作成および避難訓練の実施【千代田区、港区、新宿区、品川区、世田谷区、杉並区】　・マイ・タイムラインの取組推進【東京都、千代田区、港区、新宿区、品川区、目黒区、大田区、世田谷区、渋谷区、杉並区】　・水防活動の効率化及び水防態勢の強化に向けた取組【東京都、港区、新宿区、品川区、目黒区、大田区、世田谷区、渋谷区、杉並区】・自治体職員対象の排水ポンプ車運転講習会【世田谷区】　・移動式排水設備（排水ポンプ車等）の整備・運用【東京都、新宿区、江東区、品川区、目黒区、大田区、世田谷区、杉並区】

《家づくり・まちづくり対策》・土のう等の備蓄資材等の配備等【港区、江東区、品川区、目黒区、大田区、世田谷区、杉並区】

・公共施設等の耐水化（止水板の設置等）【千代田区、港区、品川区、杉並区、三鷹市】　・止水板設置工事の助成【品川区、杉並区、三鷹市、目黒区】　・高床化工事の助成【杉並区】